

第7 1期

業務報告書

2021年4月1日～2022年3月31日



写真「アヤメ」
塚越 寛 氏 撮影



アルプス中央信用金庫

〒396-8611 長野県伊那市荒井3438番地1

TEL 0265-76-4533

<http://www.alupuschuo-shinkin.jp>

ごあいさつ

会員の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
平素より格別なるご高配を賜わり心より厚くお礼申し上げます。
ここに第71期の事業概況並びに決算状況をご報告申し上げるにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

2021年度のわが国経済は、政府による新型コロナウイルスの流行に伴う自粛要請や世界的な物流混乱などの影響で経済活動が大きく制限されました。さらに、本年2月のロシアによるウクライナ侵攻は世界経済の先行きに大きく影を落とし、資源価格の高騰や、世界的な株価下落、20年ぶりの円安進行など国内経済への影響が多岐にわたり、直近の景況感悪化の傾向にあります。今後も、新型コロナウイルス感染再拡大やウクライナ侵攻の長期化など国内外のリスク要因により、わが国経済は今まで以上に不透明感が強まっていくものと考えます。

このような経済環境下において、当上伊那地域では、製造業や建設業を中心に景況感が改善傾向にあり、設備投資は緩やかに回復してまいりました。年度末には、「まん延防止等重点措置」が全国的に解除されましたので、徐々に経済活動が再開され、景気は緩やかに持ち直していますが、オミクロン株等による感染の再拡大等を背景に、飲食、宿泊業等対面型サービスを中心に依然として需要が低迷しており、一刻も早い回復を期待するところがあります。

金融業界におきましては、日本銀行の金融緩和政策が長期化している影響で貸出金等の資金運用利回りの低下に歯止めがかからず、収益環境は大幅に悪化いたしました。ITの導入による業務効率化、DXに象徴される技術革新の急速な進展により、経営環境も大きく変化いたしました。さらに、信用金庫の基本理念に通じるSDGsが現在急速に普及しており、地域社会の持続可能性に対する金融機関の積極的な関わりや貢献を期待されていきます。

このように大変厳しい経営環境ではございましたが、業容面におきましては、預金積金は、コロナ禍で先行き見通しに不透明感が強くなるなかで、法人のお取引先においては手元流動性を厚くされる傾向があり、個人・法人ともに堅調に推移して59億円増加の3,380億円になりました。一方、貸出金は、住宅ローンセンターの機能を充実させた結果、住宅ローンが堅調に増加しました。法人向け貸出金は新型コロナウイルス感染症関連の資金繰り支援が一巡しましたが、地方公共団体向け、金融機関向け融資が堅調に増加した結果、28億円増加の1,340億円になりました。

業績面におきましては、国債等債券売却益の増加を主因としてその他の業務利益は増加しましたが、利回り低下を要因とした資金利益の減少を補填できず業務粗利益は92百万円の悪化となりました。加えて、投資信託解約益が減少したことから、コア業務純益は3億5百万円の大幅減少となりました。そして、経営の健全性を向上するための貸倒引当金2億53百万円を積み増すと同時に、店舗建物等固定資産の減損損失31百万円を計上し、繰延税金資産41百万円を取崩した後の当期純利益2億62百万円を確保することができました。単体自己資本比率は、0.38%低下して10.68%となりましたが、コア自己資本額が1億73百万円増加いたしましたので、引き続き財務の健全性を堅持することができました。

さて、当金庫の営業基盤である上伊那地域は、人口減少や少子高齢化の進展、後継者不足といった問題が依然として深刻化しております。私ども地域金融機関にとって重要な使命は、様々な変化のトレンドを読み、最善の方法をお客様に提案し、新たなビジネスモデルで成功するまでしっかりと寄り添うことにあります。このため、当金庫では、昨年度スタートした中期経営計画において、お取引先企業に対する資金繰りを支え、事業継続を徹底的に支援することを最重要課題に掲げました。持続可能なビジネスモデルを構築していくため、自らを変化させ地域とともに成長し、お客様の課題解決に尽力できるよう業界ネットワークの強みを活用した取り組みを徹底し、地域との連携を深化させ、経済循環を向上してまいります。

「地域が元気になる、職員も幸せになり、結果として当金庫の存在価値が高まること」が信用金庫経営の原点であります。事業者支援を強化するため、きめ細かな顧客支援体制の充実を図るとともに、お客様が幸せになり、ひいては地域が元気になるようライフスタイルに合致した商品、情報等を積極的に提案してまいります。さらに、2022年度を守りから攻めの姿勢で取り組んでいく「転換の年」として、「Face To Face」でお客様と真摯に向き合い、全力を挙げてお取引先の支援を強化してまいり所存でございます。

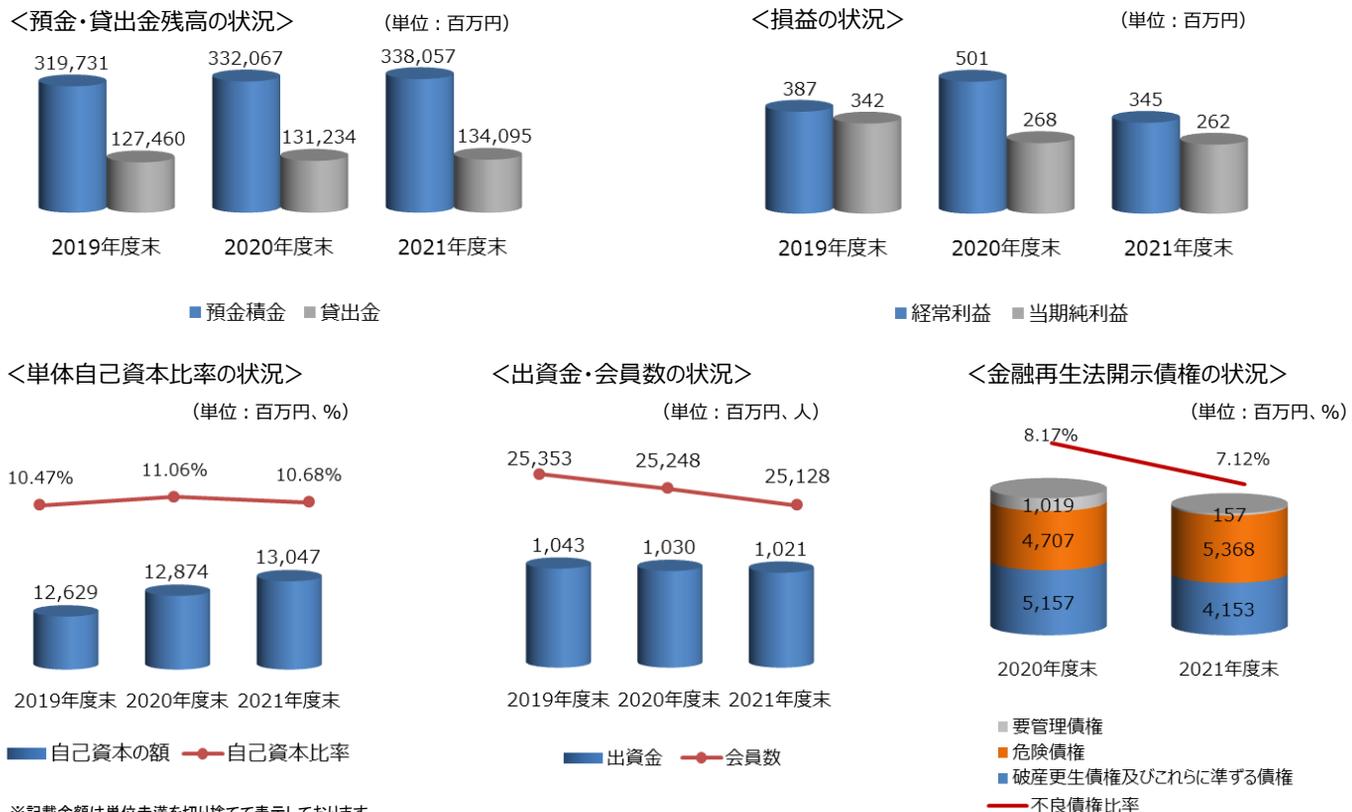
何卒、倍旧のご愛顧とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月

理事長 吉澤 祥文



主な経営指標の推移



第7 1期の事業について

第7 1期 貸借対照表

第7 1期 損益計算書

(2022年3月31日現在)

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金	6,499	預金	338,057
預買金	107,342	当座預金	7,027
入金債権	1,435	普通預金	147,299
金銭の信託	1,600	貯蓄預金	3,033
有価証券	99,200	通知預金	627
国債	16,508	定期預金	163,719
地方債	19,262	定期積金	14,241
社債	38,663	その他の預金	2,109
株式	1,555	借入金	219
その他の証券	23,209	その他の負債	419
貸出金	134,095	未決済為替	56
割引手形	932	未払費用	62
手形貸付	6,804	給付補填備	7
証書貸付	119,456	未払法人税	5
当座貸越	6,902	前受収益	60
その他資産	1,853	払戻未済金	8
未決済為替	35	職員預り	87
信金中金出資	1,484	リース債務	70
未収収益	197	資産除去債務	12
その他の資産	135	その他の負債	46
有形固定資産	2,589	賞与引当金	73
建物	1,514	役員退職慰労引当金	90
土地	670	睡眠預金払戻損失引当金	15
リース資産	70	偶発損失引当金	80
建設仮勘定	1	債務保証	944
その他の有形固定資産	331	負債の部合計	339,901
無形固定資産	124	(純資産の部)	
ソフトウェア	35	出資金	1,021
その他の無形固定資産	88	普通出資金	1,021
前払年金費用	95	利益剰余金	12,275
繰延税金資産	129	利益準備金	1,102
債務保証見返	944	その他利益剰余金	11,173
貸倒引当金	△4,618	特別積立金	10,860
(うち個別貸倒引当金)	(△4,548)	当期末処分剰余金	313
		処分未済持分	△22
		会員勘定合計	13,274
		その他有価証券評価差額金	△1,882
		評価・換算差額等合計	△1,882
資産の部合計	351,293	純資産の部合計	11,392
		負債及び純資産の部合計	351,293

(2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位：千円)

科目	金額	金額
経常収益	3,709,553	
資金運用収益	2,694,795	
貸出金利息	1,771,472	
預け金利息	140,182	
有価証券利息配当金	740,045	
その他の受入利息	43,095	
役員取引等収益	400,799	
受入為替手数料	173,531	
その他の役員収益	227,268	
その他の業務収益	206,740	
国債等債券売却益	125,818	
その他の業務収益	80,922	
その他の経常利益	407,217	
償却債権取立益	34	
株式等売却益	385,221	
金銭の信託運用益	259	
その他の経常利益	21,702	
経常費用	3,363,887	
資金調達費用	30,109	
預金利息	25,210	
給付補填備金繰入額	4,237	
借入金利息	205	
その他の支払利息	455	
役員取引等費用	316,597	
支払為替手数料	52,801	
その他の役員費用	263,795	
その他業務費用	41,159	
国債等債券償還損	39,583	
その他の業務費用	1,576	
経常費用	2,686,012	
人件費	1,626,594	
物件費	1,005,831	
税	53,586	
その他経常費用	290,008	
貸倒引当金繰入額	253,028	
貸出金償却	36	
株式等売却損	3,338	
株式等償却	18,060	
その他資産償却	176	
その他の経常費用	15,367	
経常利益	345,666	
特別利益	41	
その他の特別利益	41	
特別損失	36,128	
固定資産処分損失	4,842	
減損損失	31,285	
税引前当期純利益	309,578	
法人税、住民税及び事業税	6,112	
法人税等調整額	41,313	
法人税等合計	47,426	
当期純利益	262,152	
繰越金(当期末残高)	51,157	
当期末処分剰余金	313,309	

第7 1期 剰余金処分

(2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位：円)

科目	金額
当期末処分剰余金	313,309,774
剰余金処分額	259,966,487
普通出資に対する配当金(1%)	9,966,487
特別積立金	250,000,000
繰越金(当期末残高)	53,343,287

以上のとおりであります。

2022年6月22日



アルプス中央信用金庫

理事長	吉澤 祥文	理事	山浦 速夫	常勤監事	唐澤 伸彦
常務理事	牧田 和弘	理事	佐々木 正博	監事	高坂 建樹
常務理事	原 英則	理事	馬淵 泰太郎	員外監事	野澤 章泰
常勤理事	地田 俊彦	理事	吉澤 文男		
常勤理事	田中 久弘				

当金庫の概要

法人設立	1951年4月23日
事業開始	1951年6月8日
出資金	10億21百万円
会員数	25,128名
本店所在地	伊那市荒井3438番地1
店舗数	20店舗
役員数	245名
預金貸金	3,380億57百万円
貸出金	1,340億95百万円



庶務の概要

総代会

2021年6月25日 第71期通常総代会
当金庫事務センター(駒ヶ根市赤穂1293番地2)3階において開催し、下記議案がすべて原案どおり承認されました。

[報告事項]

- (1) 第70期業務報告の件
- (2) 第70期貸借対照表・損益計算書報告の件

[決議事項]

- 第1号議案 剰余金処分案承認の件
- 第2号議案 会員の法定脱退に関する件
- 第3号議案 定款の一部変更承認の件

理事会・監事会

理事会 10回
(会員の異動状況承認の件、諸規定等の改定承認の件、他)

監事会 11回

登記事項

2021年 4月 7日 出資の総口数及び出資の総額、変更登記
2021年 7月12日 いほく支店移転登記
2021年10月11日 小野支店廃止登記

庶務事項

2021年 7月12日 いほく支店を箕輪支店の店舗内店舗化
2021年10月11日 小野支店を辰野支店へ店舗統合

店舗・ATMコーナーのご案内

◎ 本店営業部	伊那市荒井3438番地1	(0265)72-4171	駒ヶ根地区	伊那地区
◎ 赤穂営業部	駒ヶ根市北町8番14号	(0265)82-3151	◎ 駒ヶ根駅前ビル「アルパ」	伊那市役所
◎ 宮田支店	宮田村3320番地3	(0265)85-3300	◎ 宮の前出張所	伊那中央病院
◎ 飯島支店	飯島町飯島1445番地1	(0265)86-3147	◎ 中沢出張所	伊那東出張所
◎ 上片桐支店	松川町上片桐3647番地	(0265)37-2121	◎ ペルシャイン駒ヶ根店	野底出張所
◎ 赤穂東支店	駒ヶ根市東町8番10号	(0265)82-6131	◎ ニシザワ福岡食彩館	みすず出張所
◎ 福岡支店	駒ヶ根市赤穂10790番地8(南支店内)	(0265)82-3141	飯島・中川地区	◎ ペルシャイン伊那店
◎ 中川支店	中川村片桐4080番地1	(0265)88-3333	◎ 七久保コミュニティセンター	◎ ニシザワ双葉食彩館
◎ 南支店	駒ヶ根市赤穂10790番地8	(0265)82-5507	◎ 大草出張所	◎ ニシザワ春近食彩館
◎ アルプス支店	駒ヶ根市赤穂1293番地2	(0265)81-1311	辰野地区	◎ ニシザワ高遠食彩館
◎ 伊那北支店	伊那市山寺3174番地7	(0265)72-3118	◎ 辰野町役場前	◎ アピタ伊那店
◎ 辰野支店	辰野町大字辰野1636番地9	(0266)41-0005	◎ 宮木出張所	箕輪・南箕輪地区
◎ 箕輪支店	箕輪町大字中箕輪9489番地1	(0265)79-2205	◎ ニシザワ辰野食彩館	◎ 箕輪ショッピングセンター
◎ 高遠支店	伊那市高遠町西高遠1660番地1	(0265)94-2133	◎ 小野出張所	◎ ペルシャイン箕輪店
◎ 宮木支店	辰野町大字辰野1636番地9(辰野支店内)	(0266)41-3481	◎ 印の店舗とATMコーナーは日曜日及び祝祭日にもご利用いただけます。	◎ ペルシャイン伊北店
◎ 春近支店	伊那市西春近5242番地2	(0265)78-6969		◎ ニシザワ信大前食彩館
◎ 竜東支店	伊那市中央4697番地1	(0265)73-3172		
◎ 南箕輪支店	南箕輪村3115番地1	(0265)76-1011		
◎ 信大前支店	南箕輪村8304番地72	(0265)76-5551		
◎ いほく支店	箕輪町大字中箕輪9489番地1(箕輪支店内)	(0265)79-1300		
◎ あるしんローンセンター	伊那市荒井3438番地1(本店営業部内)	(0265)98-8077		



アルプス中央信用金庫

